



日本ライフセービング協会認定競技会  
**第5回神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会**  
**【 選手募集要項 】**

- 開催日：2019年2月17日（日）
- 会場：平塚総合体育館温水プール（神奈川県平塚市1-1・平塚総合運動総合公園内）
- 主催：特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング協会
- 後援：神奈川県・平塚市・平塚市教育委員会・一般社団法人神奈川県水泳連盟  
 日本ライフセービング協会（含申請中）
- 協賛：GUARD SHOP
- 協力：平塚市水泳協会・湘南ひらつかライフセービングクラブ
- 助成：スポーツ振興くじ助成「t o t o」
- 競技種目：

[個人種目]

- ① 50mジュニアチューブスイム（小学生 1.2年混合）
- ② 50m障害物スイム（小学生 3.4年女子）
- ③ 50m障害物スイム（小学生 3.4年男子）
- ④ 50m障害物スイム（小学生 5.6年女子）
- ⑤ 50m障害物スイム（小学生 5.6年男子）
- ⑥ 100m障害物スイム（中学生 女子）
- ⑦ 100m障害物スイム（中学生 男子）
- ⑧ 100mレスキューチューブトウ（小学生 3.4年女子）
- ⑨ 100mレスキューチューブトウ（小学生 3.4年男子）
- ⑩ 100mレスキューチューブトウ（小学生 5.6年女子）
- ⑪ 100mレスキューチューブトウ（小学生 5.6年男子）
- ⑫ 100mマネキントウ・ウイズフィン（中学生 女子）
- ⑬ 100mマネキントウ・ウイズフィン（中学生 男子）

[チーム種目]

- ⑭ 4×50m障害物リレー（小学生 3~6年混合）
- ⑮ 4×50m障害物リレー（中学生 女子）
- ⑯ 4×50m障害物リレー（中学生 男子）
- ⑰ 4×50mレスキューチューブリレー（小学生 3~6年混合）
- ⑱ 4×50mメドレーリレー（中学生 女子）
- ⑲ 4×50mメドレーリレー（中学生 男子）

※ 全種目において、タイム決勝とします。

※ チーム種目については1クラブから複数チーム出場することができます。ただし、同一種目において同じ選手が複数チームから出場することはできません。

※ チーム種目「4×50m障害物リレー」（小学生 3~6年混合）「4×50mレスキューチューブリレー」（小学生 3~6年混合）において、男女同一および男女別は問いません。

※ 100mマネキントウ・ウイズフィンの種目については、ハンドラーが必要です。エントリーした競技者（小学生を除く）の中からマネキン・ハンドラーを選び、競技者と同じチームキャップを着用すること。

※ 使用するフィンは各自準備してください。なお、安全を考慮しゴムフィンのみとします。カーボンファイバーやグラスファイバー素材などの硬いフィンは使用不可とします。

■タイムテーブル：締め切り後、当協会ウェブサイト「<http://lifesaving.ne.jp/>」に掲載します。  
プールの選手入場は8時30分を予定しています。

■参加資格：以下の項目を全て満たしていること。詳細については本競技会参加規程をご確認ください。

- ① 小・中学生で、ライフセービングを志し、保護者の同意を得た健康な男女
- ② 連続して100mを泳ぐことができる者（プール水深180cm）とする
- ③ 参加する種目のルールを理解し練習を十分積むこと

■参加費：申込締め切り日までに振込みをしてください。（入金をもって受付完了とします）

◇小学1年・2年生：2,000円/人（参加賞・保険料含む）

◇小学3年～中学3年生：3,000円/人（参加賞・保険料含む）

※ チーム種目のみ出場される方も参加費が必要です。

※ 欠場や失格、その他理由の如何を問わず、納入された参加費は返還されません。

■表彰：各種目1位から8位を入賞とします。また、1位から3位までは表彰しメダルを授与します。

■競技方法：日本ライフセービング協会の「ライフセービング競技規則 2018年版」に則り行います。  
ただし、記載のない種目については別に記します。その他、必要な事項については実行委員会にて決定します。

■コンペティションキャップ：

本競技会に使用するキャップについて、同クラブから出場する場合ジュニアとユースについては同一の色やパターンで作られているものを準備してください。（競技会参加規程参照）  
日本ライフセービング協会より承認されているキャップ以外のキャップを使用する場合は、申込締め切り日までに実行委員会（事務局）に写真など分り易いものを届け出てください。（申請ではなく届出）

■代表者会議：競技上の注意事項を説明する代表者会議を下記の通り開催します。クラブ代表者は必ずご出席ください。やむを得ず代表者が出席できない場合は、必ず代理の方のご出席をお願いいたします。

○日時：2019年2月16日（土）18時

○場所：平塚市勤労会館「中会議室」（平塚市追分1-24）

・徒歩：JR平塚駅北口・西口より15分

・バス：平塚駅北口7番（伊勢原行）横浜ゴム前下車3分※城島経由を除く

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用の上ご来場ください。



■お申込方法：「①個人種目エントリー」、「②クラブ登録・チーム種目申込書」との2つの手続きが必要です。どちらか一方の手続きだけでは受け付けられません。「個人種目エントリー」は各個人が行い、「クラブ登録・チーム種目申込書」はチーム代表者が行って下さい。

① 個人種目のエントリー（※必ず、各個人で行うこと）

- 1) 申込みは、「当協会ホームページ」より「デジエントリー（外部サイト）」から、参加される各個人で申し込みをしてください。携帯端末からもご利用できます。
- 2) 参加費のお支払いは、「コンビニ」「ペイジー」「クレジットカード」から選ぶことができます。支払い方法により、手数料が異なりますのでご注意ください。
- 3) 参加費のお振込みをもって受付完了とさせていただきます。「コンビニ」「ペイジー」で支払いをされる方には3日間有効な番号が発行され、その期間支払いしていただくことができますが、締切り前日および締切日に手続きをされますと、翌1日間のみ有効な番号が発行されることとなります。支払期日を過ぎた場合、そのエントリーは「申込辞退」の扱いとなり、無効となりますのでご注意ください。
- 4) 大会2次要項は、当協会ウェブサイトに掲載いたします。参加申し込み時に登録していただきましたメールアドレスに掲載のご案内をお知らせいたします。迷惑メール対策をされている方は、「dgent.jp」からのメールを受信できるように設定をお願いいたします。詳細は、「デジエントリー」サイトにてご確認ください。

**申込締め切り日：2019年1月11日（金）23：59**

② クラブ登録・チーム種目申込書（※チーム申込責任者が行うこと）

当協会ホームページより「申込用紙」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、期日までに以下アドレスまで送付してください。

- 1) ファイル名は必ず「クラブ名（LSCなどは不要）」をつけて保存してください。
- 2) メール送信時、件名欄には必ず「クラブ名」を記入してください。
- 3) チーム種目への参加申込は、「クラブ登録・チーム種目申込書内」のチェック欄に出場するチーム数を選択してください。1つのチーム種目に3つのチームが出場する場合は「3」を選んでください。
- 4) リレーオーダー用紙は、代表者会議時にご提出いただきます。ご提出後、出場選手変更や競技順を変更する場合は、招集時に訂正したリレーオーダー用紙をマースラルに提出してください。

● クラブ登録・チーム種目参加申込書送信先 → [compe@lifesaving.ne.jp](mailto:compe@lifesaving.ne.jp)

● 送信期限：2019年1月11日（金）23：59

【申込み・詳細】 ●神奈川県ライフセービング協会ホームページ <http://lifesaving.ne.jp/>

■その他：「ライフセービング競技規則〈2018年版〉」が必要な方は、日本ライフセービング協会ホームページをご確認ください。参加選手にも要項の内容や競技規則の共有をお願いいたします。



**特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング協会**

〒251-0038 神奈川県藤沢市鵜沼松が岡 3-17-1

Phone : 0466-60-2212 FAX : 0466-60-2213

URL <http://lifesaving.ne.jp> E-mail [info@lifesaving.ne.jp](mailto:info@lifesaving.ne.jp)

## 第5回 神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会参加規定

### 1 参加資格

選手の参加資格は下記を満たしている者、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 選手は、大会初日に各競技種目の区分またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 選手は、ライフセービングを志している者とする。

1-3 選手は、連続して100mを泳ぐことができる者（プール水深180cm）とする。

1-4 選手は、ライフセービングの競技であることを理解し、自分の出場する種目のルールを熟知していること。

1-5 選手は、自分の安全を確保するため十分練習を積まなければならない。

### 2 クラブ構成

2-1 クラブは、地域クラブや学校クラブなど、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。

2-2 クラブは、代表者として必ず大学生以上で責任を持てる者を1名選出すること。

### 3 出場登録

3-1 選手は、あらかじめ所定の申込用紙（データ）を用い出場登録をしなければならない。なお、登録後の出場種目の変更および未登録種目への出場はできない。

3-2 出場登録は各個人でおこなうこと。

3-3 選手個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること。

### 4 ユニフォームおよび競技中の衣類

4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければ ジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。

4-3 キャップは、クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 キャップは、競技会申込締切日までに、JLAより承認されているもの、または、申込締切日までに実行委員会に届け出たものとする。

4-5 クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

### 5 表彰

競技種目の上位1位から8位を入賞とする。また、1位から3位は表彰式で表彰する。なお、チーム総合表彰は行わない。

### 6 参加費

6-1 参加費は、出場する種目にかかわらず下記のとおりとする。

・ 小学1年・2年生：2,000円／人      ・ 小学3年～中学3年生：3,000円／人

- 6-2 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。
- 6-3 参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
- 6-4 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。
- 6-5 出場種目の申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

## 7 競技器材

- 7-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則「第7章競技器材」の基準を満たさなければならない。本競技会使用するフィンにあっては、安全を考慮しゴムフィンのみとする。カーボンファイバーやグラスファイバー素材などの硬いフィンは使用不可とする。
- 7-2 プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキン、障害物は、主催団体が用意するものとする。
- 7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。

## 8 競技規則

- 8-1 「ライフセービング競技規則（2018年版）」に則って行う。
- 8-2 本大会のスタート方法については、1回制とする。
- 8-3 全種目においてタイム決勝とする。
- 8-4 チーム種目において、4×50m障害物リレー（小学生3～6年）、4×50mレスキューチューブリレーにあっては指定された学年とともに男女混合チームおよび男女別のチームを編成してもよい。ただし、同じ競技者が複数のチームから同一種目に出場することはできない。
- 8-5 中学生のチーム種目にあっては男女の混合は認められない。



## 9 その他

- 9-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を本大会の広報およびライフセービングの広報の目的で使用することがある。
- 9-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 9-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)

信じよう。スポーツの力を。



  toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。

## 競技規則

### 50mジュニアチューブスイム

(1) 競技人数

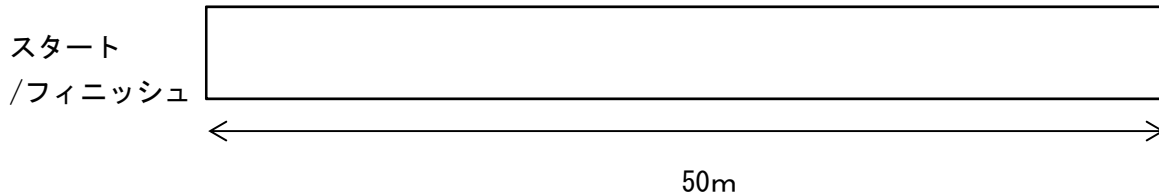
1名

(2) 使用器材

ジュニアチューブ

(3) コース

ジュニアチューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。



(4) 競技の方法

- ① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。
- ② 競技者はジュニアチューブをつけ、50m 泳ぐ。チューブを付けてスタートする場合、チューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたレーン内に位置させる。ただし、競技者は、チューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
- ③ ゴールは、競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。

(5) 失 格

総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
- ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合。

### 100mレスキューチューブトウ

(1) 競技人数

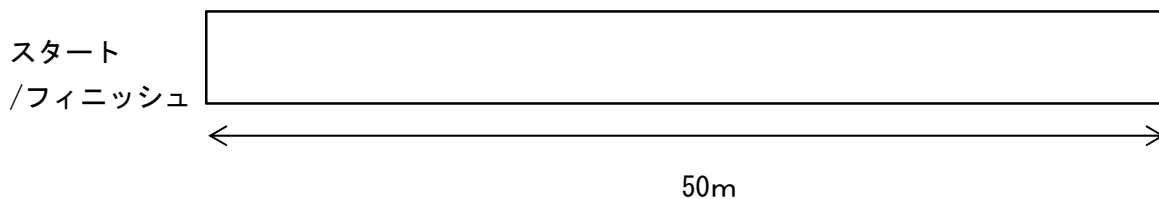
1名

(2) 使用器材

レスキューチューブ

(3) コース

チューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。



(4) 競技の方法

- ① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。
- ② 競技者は、レスキューチューブをつけて 50m 泳ぐ。レスキューチューブをつけてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブをつけたスタートが安全にできるように

しなければならない。

- ③ 競技者は、折返しの壁をタッチした後、プールの壁から 5m 以内でレスキューチューブのオーリングとクリップの部分を正しくつけ、ゴールまでそれを引っ張る。
- ④ 競技者は、できるだけ速やかにレスキューチューブの紐を十分に伸ばした状態にしなければならない。
- ⑤ レスキューチューブのオーリングとクリップの部分が途中外れた場合は失格とする。
- ⑥ 50m 地点で壁にタッチする前にレスキューチューブ本体に触れてはならない。
- ⑦ ゴールはレスキューチューブを正しく引いている状態で、はっきりと見えるようにゴールの壁にタッチすること。

#### (5) 失格

総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
- ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合。

#### 4×50mレスキューチューブリレー（小学生 3～6 年）

##### (1) 競技人数

4 名

##### (2) 使用器材

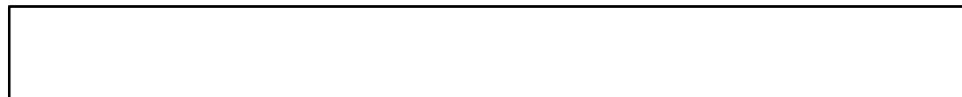
レスキューチューブ

##### (3) コース

特になし

スタート

/フィニッシュ



50m

##### (4) 競技の方法

- ① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。
- ② 第 1 競技者は、スタートの合図の後、レスキューチューブをつけてスタート台からスタートし、レスキューチューブを引いて 50m 泳ぎ壁にタッチする。レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたレーン内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
- ③ 第 2、第 3、第 4 競技者は、前の競技者がスタートしたら水中に入る。
- ④ 第 2、第 3、第 4 競技者は、少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し第 1、第 2、第 3 競技者が 50m 泳ぎ、壁にタッチしたらレスキューチューブを受け取る。
- ⑤ 第 2、第 3 競技者は、受け取ったレスキューチューブをつけて 50m 泳ぎ、壁にタッチしたらレスキューチューブを第 3、第 4 競技者に受け渡す。
- ⑥ 第 4 競技者は、第 3 競技者からレスキューチューブを受け取り 50m 泳ぎ、はっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。

⑦ ゴールは、競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。

(5) 失 格



総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
- ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合。

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

  toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。